

# ★森づくり活動団体の紹介

森づくり活動団体(全25団体)のうち、今回は5団体について紹介します。

## 横浜自然観察の森友の会

|        |  |     |                                      |
|--------|--|-----|--------------------------------------|
| 会の紹介   | 自然についての案内・調査・管理などのボランティア活動や、研修・交流・親睦・情報交換・会報の発行などを行っています。年間約180回の友の会主催行事や年間430回のプロジェクト活動などを実施しています。常駐の広域NGO(日本野鳥の会)のレンジャーや横浜市環境創造局と協働して事業を展開しています。 |     |                                      |
| ひとこと   | 身近な自然と親しんだり、自然に学んだり、自然を守り育てたり、自然を好きな人を増やしたりする活動に興味のある方、横浜自然観察の森は必見です！ご都合に合わせてお気軽にご参加下さい。   |     |                                      |
| 主な活動場所 | 横浜自然観察の森(栄区)及び周辺の森   | 連絡先 | 山口 博一                                |
| 会員数    | 約200名  |     | TEL 045-894-7474 FAX 045-894-8892    |
| 活動日    | 毎週土曜日、日曜日<br>平日の活動もあります  |     | E-Mail yns_jimu@yahoo.co.jp          |
|        |  |     | HP http://www.geocities.jp/yns_tomo/ |

## NPO法人 かなざわ森沢山の会

|        |  |     |   |
|--------|--|-----|---|
| 会の紹介   | 里山の緑化・保全を自分たちの手で作業をやりながら、その方法、森林の働きなどを知ることが出来ます。炭焼き、間伐材の加工、きのこの栽培、野草、野鳥、昆虫などの観察・保護もやっています。 |     |   |
| ひとこと   | いっしょに汗をかきませんか。   |     |   |
| 主な活動場所 | 釜利谷市民の森(金沢区)   | 連絡先 | 市川 恵一(事務局)                                |
| 会員数    | 46名  |     | TEL 045-783-3169                          |
| 活動日    | 定例会毎月、第2日曜日、第4土曜日<br>任意活動は随時可能   |     | E-Mail fwhw7790@nifty.com                 |
|        |  |     | HP http://www.geocities.jp/moridakusanjp/ |

## 特定非営利活動法人 日本の竹ファンクラブ

|        |  |     |                          |
|--------|--|-----|--------------------------|
| 会の紹介   | 手入れができなくて困っている竹林保有者と契約し、ボランティアで竹取協力隊を結成、自治体や民間企業と手をとり、荒れた竹林を日の光が入る美しい竹林に変身させるべく活動しています。また、竹灯籠祭りの企画運営や竹の学校など竹に関する様々な活動をしています。 |     |                          |
| ひとこと   | ファンクラブはいつでも好きな活動にご参加いただけます。竹のある生活を送ってみたい方、日ごろの運動不足を解消したい方などなど、ご興味のある方は事務局までお問い合わせください。お待ちしております！                             |     |                          |
| 主な活動場所 | 小机城址市民の森(港北区)/横浜国際プール(都筑区)<br>こどもの国(青葉区)   | 連絡先 | 平石 真司                    |
| 会員数    | 約250名  |     | TEL 045-306-9993(FAX共)   |
| 活動日    | 主に土、日、祝日、平日の火曜日  |     | E-Mail office@takefan.jp |
|        |  |     | HP http://www.takefan.jp |

## 殿山の森を守り隊

|        |   |     |                          |
|--------|---|-----|--------------------------|
| 会の紹介   | 活動の内容は、草刈、清掃、梅林の枝打ち等を行っています。住宅地の中に残された緑地は、日本タンポポが群生し昆虫や野鳥も多く飛来します。緑地に環境教育のため小畑地を開墾し自然循環型や地産地消の体験学習会や自然観察会を行っています。横溝屋敷の裏口から250段登った裏山です。昔の農家と里山を味わうことができます。 |     |                          |
| ひとこと   | 大倉山駅から歩いて15分の近いところに里山の自然があります。草や木の生命力をもらいたい方、一緒に里山を守る活動をしませんか。  |     |                          |
| 主な活動場所 | 獅子ヶ屋市民の森(鶴見区)   | 連絡先 | 水越 剛                     |
| 会員数    | 12名   |     | TEL 045-545-6420(FAX共)   |
| 活動日    | 毎月第2、第4土曜日 9~11時  |     | E-Mail mizuko4@nifty.com |
|        |   |     |                          |

## 鴨居原市民の森愛護会

|        |   |     |                                 |
|--------|---|-----|---------------------------------|
| 会の紹介   | 主な愛護会活動は、森の育成管理が目的で、樹林の下刈り、間伐、倒木整理、散策路の維持管理、他に、広場の草刈りや園内施設の清掃、森のパトロール、花壇作りを行っています。森のイベントとしては、森で遊ぼう、森の七夕祭り、ソーメン流し、焼き芋大会森のクリーンアップ作戦、子供会と共催の正月飾りづくりを行なっています。 |     |                                 |
| ひとこと   | 子供たちが故郷とを感じる森作り、市民が誰でも憩える森づくり。  |     |                                 |
| 主な活動場所 | 鴨居原市民の森(緑区)   | 連絡先 | 森本 敏行(事務局)                      |
| 会員数    | 100名  |     | TEL 045-936-0843(FAX共)          |
| 活動日    | 毎月第一第三土曜日<br>9~12時  |     | E-Mail moribin@garnet.dti.ne.jp |
|        |   |     | HP http://www.kamoihara.org/    |

## 森づくりボランティア登録受付中!

横浜市では、森づくりのボランティア活動に興味のある方に「森づくりボランティア」としてご登録いただき、研修等の支援や団体との橋渡しを行う取り組みを平成24年4月から実施しています。**現在32名の方に登録いただいています。**詳しくはホームページをご覧ください。

■問合せ■ 環境創造局みどりアップ推進課 森づくり担当  
TEL:045-671-2624 FAX:045-224-6627 ks-jurinch@city.yokohama.jp

横浜市 森づくりボランティア 検索  
http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/kyoudou/morivolunteer

平成25年1月発行

# よこはまの森 ニュースレター No.76

横浜市環境創造局みどりアップ推進課 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 tel 045-671-2624 fax 045-224-6627  
[よこはまの森ニュースレター web ページ] http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/kyoudou/morivolunteer/mori-news.html

## 深谷市民の森保全管理計画を策定しました!

横浜市では、横浜みどりアップ計画(新規・拡充施策)の一環として、市民の森等の樹林地をよりよい状態で次世代に引き継ぐため「保全管理計画」づくりを推進しています。

今回は、新しく計画を策定した、「深谷市民の森」(戸塚区深谷町)を紹介します。

### ★深谷市民の森はこんな場所

- ・面積は約3.1ha、谷戸地形で小川や湧水があるのが特徴です。
- ・谷戸では、落葉樹林や針葉樹林、竹林など様々な環境を楽しめます。
- ・住宅地に隣接しており、身近な緑として地域の方に親しまれています。

### ★保全管理計画作成のための検討会を実施

平成24年4月に西側のエリアが開園したことを受け、地元の自治会の方たちと観察会や意見交換会など(計4回)を実施しながら保全管理計画を策定しました。植物調査やかつての様子、地域住民との関わりなどを踏まえて全体のテーマを設定し、ゾーニングを行い、ゾーンごとに目標像や管理目標、作業内容などを検討しました。



実際に現地を観察しながら検討を行いました

### ★愛護会と行政の役割分担

ここでは、計画の中で定まった愛護会と行政の役割分担について紹介します。

| 愛護会の役割  | 行政の役割  |
|---|--|
| <b>日常の管理活動</b><br>・園路広場の清掃<br>・園路広場での必要に応じての除草<br>・巡視点検                                     | <b>基本的な管理</b><br>・危険を伴う作業、大規模な作業<br>・枯損木、倒木等危険樹木の除去<br>・園路や住宅に支障となる樹木の剪定・伐採<br>・林縁部の草地や園路沿いの草刈(雑草の繁茂を防ぐ最低限の管理) |
| <b>森の魅力を高める管理※</b><br>・外来種の除去<br>・在来野草の保護、増殖<br>・マダケの林縁ゾーン等の草刈り<br>・住宅隣接ゾーンの管理<br>・常緑低木等の除去 | <b>森の魅力を高める管理 ※</b><br>・常緑樹等の間伐<br>・竹林の間伐<br>・フジ等のつる植物の間引き<br>・花木等を育成するための剪定等                                  |

※「森の魅力を高める管理」は、愛護会と横浜市が体制、樹林の状況を勘案しながら実施するものです。

### 「愛護会」と「森づくり活動団体」

「愛護会」(市民の森愛護会やふれあいの樹林愛護会)は主に、土地の所有者や近隣の自治会・町内会などにより結成され、森の中の園路の清掃や点検、場合によっては園路沿いの草刈等の管理作業を市から依頼して行っている場合があります。

これに対し「森づくり活動団体」は、自主的に結成されたボランティア団体で、主に林内の管理作業や調査、普及啓発活動などを行っていただいています。

# 研修の実施報告

## ●森づくりボランティア養成講座がはじまりました！

森づくりやボランティア活動などに興味のある方を対象に一般募集を行ない、41名の方にお申し込みをいただきました。

森づくりに関する知識や技術を高めたいと、希望者には「森づくり活動団体」への橋渡しを行うなど、実際の森づくり活動を行える環境を整えていきます。

### 日時・場所

- 平成24年12月～平成25年2月
- Aコース：新治市民の森／Bコース：横浜自然観察の森

### 応募者

最も多い応募者は60代男性ですが、「女性」や「40代」もそれぞれ3分の1を占めています。特に土日開催のBコースは応募者のうち半数が40代（うち約半数が女性）となっており、若い世代や女性の関心の高まりがうかがえ、すそ野の拡大や活動団体の活性化に期待できます。

### 概要

#### 1日目(12月)

午前中は、横浜市の森の保全施策や森づくりボランティアとしての心構え、横浜の森の特徴や課題などについて説明したほか、実際の管理を行っている方のお話を伺いました。

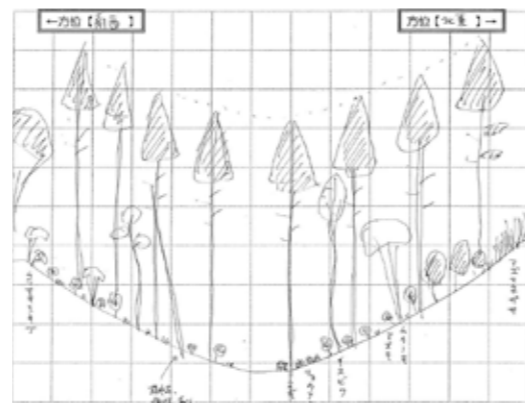
午後は屋外に出るなどして、森の断面図を描く調査体験を行いました。Bコースはあいにくの雨天により建物周辺からの調査となりましたが、断面図を通して森の構造や特徴を把握する手法やその活用例などを学びました。

#### 2日目(1月)

「森のガイドツアー」を実施しました。森のスペシャリストの解説を聞きながら、森や湿地など様々な環境を歩き、環境と生きものとのつながりや人による手入れの意義、森づくりを行う際の計画づくりの重要性などについて考えていきました。

#### 3日目(2月)

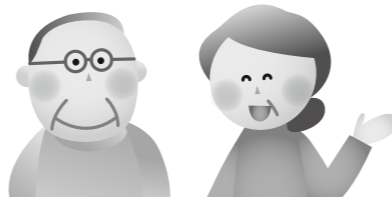
管理作業について講義と実習を交えながら学んでいく予定です。



1日目の講座では断面図を描きました

### 参加者の声

- ◎「森に対する興味が深まった。」
- ◎「森に対する切り口が新鮮だった。」
- ◎「絵や図で説明してもらったので分かりやすかった。」
- ◎「いろいろな立場の人の話を聞いてよかった。」など



## ●森づくりボランティア基本研修(安全管理講習会)を実施しました！

森づくり活動団体に対する必修の研修として、全25団体に受講していただきました。

### 日時・場所

- 平成24年10月10日(水)、10月28日(日) 10時～15時半
- 自然観察の森(自然観察センター)、新治里山公園(にいほる里山交流センター)

### 参加人数

- 25団体・75名

### 概要

- 森づくりボランティア制度の概要と変更点について
- ウェルカムセンターの見学
- 森づくり活動中の事故事例と対策(森づくり活動中の事故の発生状況、事故事例の紹介、安全対策、保険の紹介)
- 市民の森等における利用ルールについて

### 参加者の声

- ◎「制度について理解するよい機会になった。」
- ◎「活動での事故が多いことに驚いた。」
- ◎「事故事例は今後の活動の参考になった。」
- ◎「竹林作業での安全管理の見直しが必要だと感じた。」など



## ●「これだけは覚えよう!30種シリーズ」の第1弾、第2弾を実施しました！

### 「秋の野草30種」

森づくり活動団体や愛護会、個人で登録をされた「森づくりボランティア」の方を対象に、秋の野草の観察会を実施しました。

### 日時・場所

- 平成24年9月26日(水)、10月4日(木) 10時～15時半
- 新治里山公園(新治市民の森)

### 参加人数

- 33名(11団体+登録個人3名)

### 概要

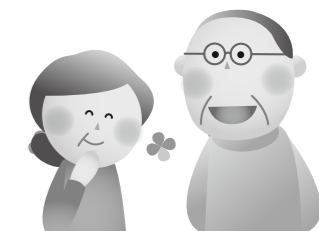
午前中は秋に見られる代表的な植物を紹介しながら、植物を見分けるポイントや人の手入れとの関わりなどについての講義を行い、観察に必要な知識を得ました。午後は屋外に出て観察会を実施しました。実際の植物をルーペなども活用しながら観察していきました。また、書き取ったメモを基に「手作り図鑑」をつくりました。



観察会の様子

### 参加者の声

- ◎「やさしく解説いただき、楽しく歩くことができました。」
- ◎「30種覚えるのは大変。」
- ◎「植物や花の一つ一つにいろんな意味があることが分かり、今後植物の見方が変わってきそう。」
- ◎「春にも実施してほしい。」など



### 「冬の野鳥30種」

森づくり活動団体や愛護会、個人で登録をされた「森づくりボランティア」の方を対象に、冬の野鳥の観察会を実施しました。

### 日時・場所

- 平成24年12月5日(水) 9時半～15時半
- 新治里山公園(新治市民の森)

### 参加人数

- 29名(10団体+登録個人7名)

### 概要

鳥類の特徴や生理、行動などに関する講義の後、屋外に出て、畑や小川、遊水池、林縁などの環境を歩きながら、野鳥を観察しました。上空でカラスとけん制し合うオオタカや、シジュウカラやアオジがヨシ原でエサを食べている様子、遊水池にやってきたカワセミなどを見ることができました。午後は森の中に入り、虫を探すコゲラやエサを見つけて互いに呼び合うエナガ、メジロ、シジュウカラの群れなどを観察しました。

観察後の振り返りでは、参加者にある一種の鳥になっていただき、どんな場所にいたか、どんな所を好むかを発表していただきながら、鳥と環境とのつながりを考えていきました。

### 参加者の声

- ◎「普段何気なく見ていた野鳥の生態がよく分かった。」
- ◎「よく見るとこんなにたくさん鳥がいるのかとびっくりした。」
- ◎「鳥の種類によって生活する環境が異なることがよく分かった。」
- ◎「ヤブの重要性など、活動している他のメンバーにも知ってもらいたい内容だった。」など



鳥と環境とのつながりを考える

